後援・推薦に係る審査結果報告書

資料4

No.	申請日	申請者	行事名	会場・開催日時	行事の目的・対象・内容等	入場料	新規 継続	承認区分 及び決定日	審査結果
1	平成26年 1月30日	長久手おやこ劇 場 木本直子	長久手おやこ劇場 2 014年度 春の例会	豊田市能楽堂 平成26年4月12日 (土) 日進市民会館 平成26年4月29日 (祝・火) 長久手市文化の家 平成26年5月1日 (木)	○ 長久手市及び近郊に住む親子を対象とし、子どもの年齢に応じた舞台鑑賞会を開き、感性を豊かにする。 小学4年生以上対象の「狂言」、幼児～小学3年生対象の「マイ・クロ・シアター」、0～3歳児対象の「そうぞうりよくのたね」、3回の舞台鑑賞会を行う。	入会金： ¥1,000 月会費： ¥1,200	継続	推薦 平成26年 2月12日	子どもの感性を豊かにすることを目的とした催し物であるが、参加するために入会金が発生し、前回も推薦として承認しているため、推薦することが適当である。
2	平成26年 1月30日	長久手市ソフト ボール協会 会長 加藤誠	長久手市ソフトボール 協会 創立30周年記 念事業	長久手市スポーツ の杜 サンプラザシーズ ンズ 平成26年5月25日 (日)	○ ソフトボール協会登録チーム、及び市内一般募集チームを対象とし、ソフトボールの普及、振興を図るとともに、更なる会員の親睦と協会の発展をはかることを目的としている。 enjoyマラソンソフトボール大会と称し、通常のボールより大きい4号ボールを使用し、全チームを2チームに分け、A面B面で同時進行試合を行う。試合終了後、記念式典等を行う。	チーム参 加費 ¥10,000	新規	推薦 平成26年 2月20日	長久手市ソフトボール協会は昭和59年に設立され、長久手市のソフトボールの普及、振興を図るためにこれまで各種大会を主催、後援してきている。今回は、創立30周年記念事業としての大会であるが、チーム参加費が発生するため、推薦することが適当である。
3	平成26年 1月31日	長久手フィル ハーモニー管弦 楽団 団長 須山恵一	長久手フィルハーモ ニー管弦楽団 第21回 定期演奏会	長久手市文化の家 平成26年5月18日 (日)	○ 長久手市及び周辺地域住民を対象とし、オーケストラの演奏により、地域の音楽振興に貢献することを目的としている。 週1回の合奏練習を継続的に行い、その集大成として演奏会を開催する。 シベリウス：交響曲第1番他	入場料 当日 ¥1,000 前売 ¥800	新規	推薦 平成26年 2月20日	長久手フィルハーモニー管弦楽団は2000年に設立後、定期演奏会やファミリーコンサートを開催しており、文化の家提携事業も行っている。今回も地域の音楽振興に貢献することを目的とした催し物であるが、入場料が発生するため、推薦することが適当である。

後援・推薦に係る審査結果報告書

資料4

No.	申請日	申請者	行事名	会場・開催日時	行事の目的・対象・内容等	入場料	新規 継続	承認区分 及び決定日	審査結果
4	平成26年 2月4日	お気楽パン会 パンマルシェ実 行委員会 石臥博代	パンマルシェ3inモリ コロパーク	愛・地球博記念公 園 平成26年4月5日 (土)	○ 全国の幼児から高齢者までを対象と し、地域住民のふれあいの場の創造、パ ンと催しを介して、人の集まる場を創造 することを目的としている。 日本各地のパン屋が集まり、パン知識を 深める講演や、パンの魅力を探るセミ ナーなどを開催する。	無料	継続	後援 平成26年 2月12日	今年度後援実績があり、地域住 民のパンについての学びの場の 創造やふれあいの場の創造を目 的とした催し物であるため、後 援することが適当である。
5	平成26年 2月6日	愛知県立大学人 形劇サークルと びねこ 砂原大樹	とびねこまつり2014	長久手市文化の家 平成26年3月20日 (木)	○ 子ども（主に小学校低学年）を対象と し、人形劇公演や集団遊び、工作を通し て、友だちや大人とふれあうことを目的 としている。 人形劇公演「くらいよるの日」「もりの おいしゃさん」の間に、集団遊びや工作 を行う。	無料	新規	後援 平成26年 2月12日	子どもたちが想像の世界（人形 劇）を楽しむ中で、心の糧と し、集団遊びや工作を通して友 だちや大人とふれあうことを目 的とした催し物であるため、後 援することが適当である。
6	平成26年 2月17日	長湫地区区有財 産等管理運営委 員会 会長 青山巽	平成26年度長湫地区古 戦場まつり「長久手合 戦史跡めぐり」	景行天皇社前広場 平成26年4月6日 (日)	○ 地区住民及び「歴史の町・長久手」を 理解しようとする人を対象とし、史跡を 巡ることにより、「歴史の町・長久手」 を広く理解してもらうことを目的として いる。 景行天皇社前から出発し、史跡を巡る コース約6kmをウォーキングする。途中、 各史跡において郷土史研究会の会員より 説明を受け、歴史の学習をする。	無料	継続	後援 平成26年 2月20日	前回（平成24年度）後援実績が あり、史跡を巡ることにより、 地域の歴史を学習し「歴史の 町・長久手」を広く理解しても らうことを目的とした催し物で あるため、後援することが適当 である。

後援・推薦に係る審査結果報告書

資料4

No.	申請日	申請者	行事名	会場・開催日時	行事の目的・対象・内容等	入場料	新規継続	承認区分及び決定日	審査結果
7	平成26年 2月17日	トヨタ自動車(株) トヨタ博物館 館長 布垣直昭	創立25周年企画展ト ヨタ博物館「裏」展	トヨタ博物館特別 展示室 平成26年4月19日 (土)～平成26年 6月29日(日)	○ 一般来館者を対象とし、常設展の補完をして、時宜を得た調査・研究内容の発表を目的とする企画展。 博物館の基本機能の「収集・保存」を紹介する。特に貴重な1918年製米国車「フランクリン」のレストア作業の中間報告を中心とし、調査・研究の一例を紹介、舞台裏に保管されていた収蔵車や収蔵資料について、収蔵の意味や活用の重要性を展示する。	無料	継続	後援 平成26年 2月24日	前回企画展の後援実績があり、常設展の補完及び調査・研究内容の発表をすることで自動車文化への理解を深めることを目的とした催し物であるため、後援することが適当である。
8	平成26年 2月21日	愛知学院大学 学長 大野榮人	愛知学院大学 春季公 開講座	愛知学院大学日進 キャンパス 平成26年5月17日 (土)～平成26年 6月21日(土)	○ 一般市民を対象とし、大学における研究の成果を社会に還元するとともに、大学のもつ機能を広く社会に開放して、生涯学習社会の要請に応えることを目的としている。 総合テーマ「世界から日本を眺めるー国際社会における日本の役割ー」に基づき全6回の公開講座を行う。	受講料 ¥3,000	継続	後援 平成26年 2月25日	前回(平成24年度)後援実績があり、大学のもつ知的財産を広く社会に開放し、生涯学習社会の要請に応えることを目的とした催し物であるため、後援することが適当である。
9	平成26年 2月21日	愛知学院大学 学長 大野榮人	愛知学院大学 秋季公 開講座	愛知学院大学日進 キャンパス 平成26年10月18日 (土)～平成26年 11月29日(土)	○ 一般市民を対象とし、大学における研究の成果を社会に還元するとともに、大学のもつ機能を広く社会に開放して、生涯学習社会の要請に応えることを目的としている。 総合テーマ「この人を見よー知っていそうで知らない人物伝ー」に基づき全6回の公開講座を行う。	受講料 ¥3,000	継続	後援 平成26年 2月25日	前回(平成24年度)後援実績があり、大学のもつ知的財産を広く社会に開放し、生涯学習社会の要請に応えることを目的とした催し物であるため、後援することが適当である。

後援・推薦に係る審査結果報告書

資料4

No.	申請日	申請者	行事名	会場・開催日時	行事の目的・対象・内容等	入場料	新規 継続	承認区分 及び決定日	審査結果
10	平成26年 2月25日	トヨタ自動車(株) トヨタ博物館 館長 布垣直昭	第25回 トヨタ博物館 クラシックカー・ フェスティバル	愛・地球博記念公園 平成26年5月25日 (日)	○ 公園に訪れた一般来場者を対象とし、 自動車文化の継承並びに、長久手市エリ ア全体の活性化を目的とするイベント。 個人所有のクラシックカーによる長久手 市内目抜き通りの公道パレード、モリコ ロパークでのトヨタ博物館所蔵車両の走 行披露や同乗試乗、交通安全イベント等 を行う。	無料	継続	後援 平成26年 3月3日	前回（平成24年度）後援実績が あり、クラシックカーファンの 交流を通じた自動車文化の継 承、交通安全の大切さを伝える こと、長久手市エリア全体の地 域活性化を目的とした催し物で あるため、後援することが適当 である。
11	平成26年 3月3日	長久手市文化協 会 会長 山田三行	平成26年度 文化美術 展	長久手市西庁舎 公民館 平成26年6月7日 (土)～6月8日 (日)	○ 会員及び一般市民を対象とし、会員相 互の親睦及び交流をはかるとともに、広 く市民の文化向上に努めることを目的と している。 会員の制作した作品の展示（日本画、工 芸、盆栽、華道、書道、写真、絵手紙な ど）、無料呈茶サービスを行う。	無料	継続	後援 平成26年 3月7日	前回（平成24年度）後援実績が あり、広く市民の文化向上に努 めることを目的とした催し物で あるため、後援することが適当 である。